

【問題1】骨について、誤っているのはどれか。

- 1 造血機能があるのは赤色骨髄^{こつずい}である。
- 2 成人の骨格は100余りの骨からなる。
- 3 骨にはカルシウムを貯蔵するはたらきがある。
- 4 骨膜^{こつまく}は、骨の保護・成長の役割を担う。

【問題2】腹膜後器官^{ふくまくこう}として、正しいのはどれか。

- 1 胃
- 2 腎臓
- 3 肝臓
- 4 膀胱^{ぼうこう}

【問題3】神経系について、正しいのはどれか。

- 1 脊髄^{せきずい}から出る頸神経^{けい}は、8対存在する。
- 2 脳神経^{ちゆうすう}は、中枢神経系に分類される。
- 3 末梢^{まっしょう}の興奮を中枢^{ちゆうすう}へ伝える部分を、遠心性神経（運動性伝導路）という。
- 4 交感神経がはたらくと、気管支は収縮する。

【問題4】感覚系について、正しいのはどれか。

- 1 体温調節にはたらくのは、主にアポクリン（汗）腺である。
- 2 味覚の受容器（味覚器^{みらい}）は味蕾である。
- 3 ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨は、外耳に存在する。
- 4 眼球の前1/6は、透明な強膜がある。

【問題5】血液系について、正しいのはどれか。

- 1 循環血液量は、体重のおよそ1/13である。
- 2 白血球は、ヘモグロビン（Hb）を含んでいる。
- 3 胸腺で成熟したリンパ球を、B細胞という。
- 4 血液のpHは、6.35～6.45である。

【問題6】循環系について、正しいのはどれか。

- 1 肺動脈には、動脈血が流れる。
- 2 内頸動脈は、下行大動脈から分岐する。
- 3 静脈には、血液の逆流を防ぐ弁が存在する。
- 4 胸管を流れるリンパは、右静脈角で静脈に入る。

【問題7】呼吸器系について、正しいのはどれか。

- 1 肺の上端を肺底という。
- 2 主として横隔膜の上下運動による呼吸を胸式呼吸という。
- 3 肺での酸素と二酸化炭素の交換を、内呼吸という。
- 4 成人の1回換気量は、約 500 ml である。

【問題8】消化器系について、誤っているのはどれか。

- 1 唾液に含まれる消化酵素は、アミラーゼである。
- 2 食道には、生理的狭窄部位が2か所ある。
- 3 大十二指腸乳頭（ファーター乳頭）は、胆汁と膵液の分泌調節を行っている。
- 4 消化腺から分泌される消化液の多くは、小腸と大腸で吸収される。

【問題9】生殖系について、正しいのはどれか。

- 1 卵子は、22本の常染色体と1本のY染色体をもつ。
- 2 外胚葉からは、骨・筋・血管系ができる。
- 3 前立腺は、精子の運動を活発にする液を分泌する。
- 4 卵胞が破裂して卵子が排出されることを、受精という。

【問題10】栄養素について、正しいのはどれか。

- 1 糖質は、膵液中のアミラーゼにより単糖類まで消化（分解）される。
- 2 たんぱく質は、多数のグリセロールが結合したものである。
- 3 飽和脂肪酸は、血中コレステロールを上昇させる。
- 4 ビタミンAは、水溶性ビタミンである。

【問題 11】 特殊栄養法について、誤っているのはどれか。

- 1 経管栄養の合併症として下痢^{げり}をおこすことがある。
- 2 経腸栄養剤は、すべて医薬品である。
- 3 末梢^{まっしょう}静脈栄養は、高濃度の輸液を入れると静脈炎をおこす。
- 4 中心静脈栄養の合併症として、感染による敗血症がある。

【問題 12】 70 歳以上の男性（身体活動レベルⅡ（普通））の推定エネルギー必要量（kcal/日）で、正しいのはどれか。

- 1 1,600 kcal/日
- 2 2,200 kcal/日
- 3 2,800 kcal/日
- 4 3,000 kcal/日

【問題 13】 薬物の効果について、正しいのはどれか。

- 1 相加作用^{そうか}とは、複数の薬物の効果が合わさった以上にはたらくことをいう。
- 2 プラセボ（プラシーボ）効果とは、患者の心理的状态に影響^{ぎやく}されて偽薬でも効果が見られることをいう。
- 3 交差耐性^{たいせい}とは、繰り返しの投与で同量を与えても効果が減弱することをいう。
- 4 習慣とは、薬物を連用することで抑えられないほどの強い欲求が出現する状態をいう。

【問題 14】 薬物の作用について、誤っているのはどれか。

- 1 バンコマイシンは、グラム陰性桿菌^{かんきん}に対して有効である。
- 2 テオフィリンは、気管支拡張作用がある。
- 3 アトロピンは、消化管運動を抑制する。
- 4 ノルアドレナリンは、 β_2 受容体刺激作用がほとんどない。

【問題 15】 薬物とその副作用の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 副腎皮質ステロイド薬^{ひしつ} ————— 易感染^い
- 2 強心配糖体（ジギタリス類） ————— 不整脈
- 3 ループ利尿薬 ————— 低カリウム（K）血症⁺
- 4 抗ヒスタミン薬 ————— 不眠

【問題 16】^{たいこう}退行性病変について、誤っているのはどれか。

- 1 結核でおきる^{えし}壊死を^{かんらくえし}乾酪壊死という。
- 2 液化^{えし}壊死は、^{ちゅうすう}中枢神経組織でおきやすい。
- 3 アポトーシスとは、遺伝子によって決められた細胞の死のことである。
- 4 歳をとることによっておこる^{いしゆく}萎縮を^{はいよう}廃用性萎縮（^む無為^{いしゆく}萎縮）という。

【問題 17】^{しつかん}呼吸器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 胸膜に発生する中皮腫は、アスベストとの関連がある。
- 2 結核菌の感染の診断には、クオンティフェロン検査（QFT）がある。
- 3 肺がんのうち腺がんは、喫煙との関係が深い。
- 4 間質性肺炎の原因のひとつに、マイコプラズマ感染がある。

【問題 18】^{しゅよう}腫瘍について、正しいのはどれか。

- 1 良性^{しゅよう}腫瘍は、^{しんじゅん}浸潤性発育が特徴である。
- 2 悪性^{しゅよう}腫瘍は、転移をおこしやすい。
- 3 非上皮性悪性^{しゅよう}腫瘍（^{しゅよう}悪性非上皮性腫瘍）は、^{しゅよう}がん腫に分類される。
- 4 低分化（^{いけい}異型度が高度）ながんは、^{いけい}予後がよい。

【問題 19】^{しつかん}循環器疾患について、正しいのはどれか。

- 1 左冠状動脈の前下行枝が閉塞すると、左心室後壁に^{こうそく}梗塞が生じる。
- 2 心筋が^{えし}壊死した状態を狭心症という。
- 3 動脈硬化症は、アテローム（^{じゅくしゅ}粥腫）が形成される。
- 4 冠動脈^{きょうさく}狭窄によって、^{かいり}大動脈解離がおこる。

【問題 20】^{しつかん}消化器疾患について、正しいのはどれか。

- 1 慢性肝炎は肝障害の終末像である。
- 2 早期胃がんでは、がん細胞が固有筋層までにとどまっている。
- 3 胃がんでは、高分化（型）腺がんは若年成人に多い。
- 4 大腸がんは、直腸およびS状結腸に多い。

【問題 21】 内分泌・代謝疾患について、正しいのはどれか。

- 1 下垂体前葉の疾患として尿崩症がある。
- 2 糖尿病の合併症の1つに網膜症がある。
- 3 バセドウ病（グレーブス病）の症状として徐脈が認められる。
- 4 クッシング症候群は、副腎皮質の機能低下によりおこる。

【問題 22】 性感染症の原因について、誤っているのはどれか。

- 1 淋菌
- 2 トラコーマクラミジア
- 3 ヒト免疫不全ウイルス（HIV）
- 4 B群レンサ球菌

【問題 23】 ウイルスについて、正しいのはどれか。

- 1 成人T細胞白血病ウイルスは、主に母乳から感染する。
- 2 インフルエンザウイルスは、接触感染が最も多い。
- 3 ノロウイルスは、飛沫感染が最も多い。
- 4 C型肝炎ウイルスは、母子感染が多い。

【問題 24】 細菌について、正しいのはどれか。

- 1 グラム染色は、細菌の分類において重要な検査方法である。
- 2 ブドウ球菌（属）は、グラム陰性菌である。
- 3 破傷風菌は、好気性である。
- 4 ヘリコバクター・ピロリは、大腸がんの原因菌である。

【問題 25】 次の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 ヒポクラテスの誓い ————— 医師の倫理的指針
- 2 患者の権利章典 ————— 生体実験に関する10か条
- 3 ヘルシンキ宣言 ————— インフォームドコンセント
- 4 ジュネーブ宣言 ————— 守秘義務

【問題 26】 国際看護師協会（ICN）看護師の倫理綱領こうりょうの内容で、看護師の基本責任として、誤っているのはどれか。

- 1 健康の増進
- 2 疾病しつぺいの治療
- 3 健康の回復
- 4 苦痛かんわの緩和

【問題 27】 コミュニケーションの技法について、適切でないのはどれか。

- 1 患者が話しやすいようにあいづちを打つ。
- 2 自由な答えのできる形で質問する。
- 3 患者の話した内容を繰り返す。
- 4 看護師が確認したいことを優先的に聞く。

【問題 28】 慢性期の患者におこる心理的特徴について、適切なのはどれか。

- 1 予後に対する不安はない。
- 2 生命の危機に直面して恐怖を抱き、混乱する。
- 3 自己の存在を否定的に捉えやすい。
- 4 経済的な不安は抱きにくい。

【問題 29】 キュブラー＝ロスの心理プロセスの段階について、誤っているのはどれか。

- 1 怒り
- 2 取り引き
- 3 抑うつ
- 4 葛藤かっとう

【問題 30】 保健所の業務について、誤っているのはどれか。

- 1 薬事に関する事項
- 2 人口動態統計に関する事項
- 3 結核の予防
- 4 住民の健康診査

【問題 31】わが国の衛生統計について、正しいのはどれか。

- 1 国勢調査は、人口動態統計調査である。
- 2 0歳の平均余命は、そのまま平均寿命となる。
- 3 新生児死亡とは、生後1年未満の死亡をいう。
- 4 生産年齢人口は、18歳から60歳をさす。

【問題 32】麻薬の取扱いについて、誤っているのはどれか。

- 1 麻薬を取り扱うには、厚生労働大臣または都道府県知事の免許を必要とする。
- 2 麻薬は、他の薬品と区別し、鍵かぎをかけた堅固な設備内に保管する。
- 3 麻薬を施用しやうまたは交付したときは、一定の事項を診療録に記載する。
- 4 医師が記載した麻薬処方箋せんは、押印おういんまたは署名を省略できる。

【問題 33】「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」について、正しいのはどれか。

- 1 エボラ出血熱は、1類感染症である。
- 2 1類感染症を診断した医師は、直接、都道府県知事に届出を行う。
- 3 1類感染症～4類感染症の届出は、7日以内に行う。
- 4 結核登録票に登録されている者に対して、保健師は介入しない。

【問題 34】看護の概念の変遷について、適切なのはどれか。

- 1 第1次世界大戦前、看護は病人の日常生活の世話が中心であった。
- 2 1923年に発表されたゴールドマークレポートには、看護の役割として診療の補助行為が導入された。
- 3 1948年に発表されたブラウンレポートは、科学的看護を提唱している。
- 4 20世紀後半、米国を中心に看護実践の根拠となる看護の理論化が盛んになった。

【問題 35】フローレンス・ナイチンゲールの看護について、適切でないのはどれか。

- 1 健康とは、回復過程であって、その過程を癒いやそうとする自然の努力の現われである。
- 2 健康の条件として、環境を重視する。
- 3 看護とは、生活にかかわるあらゆることを、患者の生命力の消耗しょうもうを最小にするように整えることである。
- 4 看護とはなにかを「看護覚え書（Notes on Nursing）」に記している。

【問題 36】ヘンダーソンが述べている患者の基本的欲求について、適切でないのはどれか。

- 1 適切に飲食をする。
- 2 睡眠と休息をとる。
- 3 同じ姿勢を保持する。
- 4 自分の信仰に基づいた生活をする。

【問題 37】WHO（世界保健機構）でまとめられた「看護の機能」（1950）のなかで述べられている看護師の任務について、適切でないのはどれか。

- 1 患者のために、医師が指示する看護計画を果たす。
- 2 疾病の回復に必要な身体的・心理的環境を保持する。
しゅべい
- 3 患者に対し、衛生と安楽の点で満足できるように努める。
- 4 患者に対し、心身の健康法を積極的に指導する。

【問題 38】准看護師に関することについて、誤っているのはどれか。

- 1 療養上の世話又は診療の補助を行う。
- 2 医師、歯科医師又は看護師の指示を受けて業務を行う。
- 3 厚生労働大臣の免許を受ける。
- 4 准看護師の業務独占については、保健師助産師看護師法に定められている。

【問題 39】看護の対象である人間の特徴について、適切でないのはどれか。

- 1 身体的・精神的・社会的な側面を別々に持っている。
- 2 個性を持っている。
- 3 環境とのかかわりのなかで生命を維持している。
- 4 ニード（欲求）は、人間の行動をおこす条件である。

【問題 40】人間の健康に関わる物理的環境要因について、正しいのはどれか。

- 1 産業
- 2 光
- 3 粉塵
ふんじん
- 4 ウイルス

【問題 41】 保健医療福祉施設について、正しいのはどれか。

- 1 有床診療所のベッド数は、20 床以下である。
- 2 特定機能病院は、慢性期の医療を提供する病院である。
- 3 介護老人保健施設は、健康保険法に基づく施設である。
- 4 助産所は、助産師が正常分娩^{ぶんべん}を扱う施設である。

【問題 42】 健康増進を目的とする疾病の 1 次予防対策^{しつべい}について、適切でないのはどれか。

- 1 栄養
- 2 検診
- 3 休養
- 4 運動

【問題 43】 災害看護におけるトリアージタッグについて、正しいのはどれか。

- 1 最優先治療群は黒である。
- 2 出血性ショックは赤である。
- 3 保留群（軽症群）は黄である。
- 4 待機的治療群（中等症群）は緑である。

【問題 44】 医療事故の防止について、適切でないのはどれか。

- 1 ヒヤリハット体験を医療チームで共有する。
- 2 インシデント・アクシデントを分析する。
- 3 医療従事者個人の問題であるので、個々が気をつければよい。
- 4 リスクマネジメントに取り組む。

【問題 45】 観察について、適切なのはどれか。

- 1 系統的観察とは、観察者の直観や気づきによって観察する方法である。
- 2 看護記録から情報を得ることは、観察の手段である。
- 3 主観的な態度で行う。
- 4 対象者への関心は必要ない。

【問題 46】 記録について、適切なのはどれか。

- 1 POS（問題志向型システム）の記録様式では、経過記録をSOAPに従って記録する。
- 2 診療録の保存期間は、4年間である。
- 3 看護記録は、法的証拠能力をもたない。
- 4 電子カルテの導入により、情報の共有が困難となる。

【問題 47】 看護過程について、適切なのはどれか。

- 1 アセスメントは、看護行為を実施した後に行う。
- 2 看護師を中心とした目標を設定する。
- 3 解決策は、観察計画とケア計画の2種類である。
- 4 評価は、看護過程の各段階のすべてにおいて行われる。

【問題 48】 呼吸について、誤っているのはどれか。

- 1 胸式呼吸は女性に多い。
- 2 新生児の正常な呼吸数は、40～50回/分である。
- 3 多呼吸とは、呼吸数と1回換気量のいずれかが増加した呼吸である。
- 4 ビオー呼吸は、頭蓋内圧亢進時にみられる。

【問題 49】 体温について、適切なのはどれか。

- 1 体温が1日のうちで最も高い時間帯は、午前10～12時頃である。
- 2 稽留熱とは、高熱で1日の体温差が1℃以上のものである。
- 3 乳児の直腸検温では、体温計を1.5～2.0 cm挿入する。
- 4 口腔検温は、意識障害のある患者には適さない。

【問題 50】 看護におけるボディメカニクスについて、適切でないのはどれか。

- 1 支持基底面を広くとる。
- 2 大きな筋群を使う。
- 3 垂直移動を利用する。
- 4 てこの原理を応用する。

【問題 51】抑制について、適切でないのはどれか。

- 1 看護師の判断で行うことができる。
- 2 患者や家族に了解を得る。
- 3 局所的な強い圧迫を避ける。
- 4 ベッドを柵で囲み、患者が自分で降りられないようにすることを含む。

【問題 52】酸素吸入について、適切でないのはどれか。

- 1 酸素吸入中は、火気に注意する。
- 2 酸素マスクは、低濃度酸素投与に適している。
- 3 びくう 鼻腔カニューレ法では、カニューレがはずれやすいので注意する。
- 4 酸素投与中は、加湿器内の滅菌精製水（滅菌蒸留水）が適量であるか確認する。

【問題 53】静脈内注射について、正しいのはどれか。

- 1 筋肉内注射よりも薬効が遅い。
- 2 日本看護協会が作成した「静脈注射の実施に関する指針」により実施範囲が示されている。
- 3 血液の逆流がなくても、薬液を注入しても良い。
- 4 終了後は、注射部位をマッサージする。

【問題 54】経管栄養法について、適切なのはどれか。

- 1 胃チューブ挿入の長さの目安は、成人の場合、じかい 耳介から けんじょうとつき 剣状突起までの長さである。
- 2 流動物の注入前には、胃チューブが正しい位置に挿入されているかを確認する。
- 3 流動物の温度は、32～33℃で準備する。
- 4 流動物の注入中に、がいそう むせ込みや咳嗽がおきた場合は滴下速度を遅くする。

【問題 55】ようついせんし 腰椎穿刺について、適切でないのはどれか。

- 1 せんし 穿刺部位はヤコビー線が目安となる。
- 2 無菌操作で実施する。
- 3 せんし 穿刺後 1～2 時間は、安静を保つ必要がある。
- 4 せんし 穿刺後は、おうと 頭痛や嘔吐の有無を観察する。

【問題 56】導尿について、適切でないのはどれか。

- 1 成人男性の場合、カテーテルは約 20 cm 挿入する。
- 2 カテーテル挿入は、無菌操作で行う。
- 3 男性の場合、留置カテーテルは、大腿部内側に固定する。
- 4 留置カテーテル挿入中は、尿路感染症が発生しやすい。

【問題 57】^{かんちょう}浣腸について、適切なのはどれか。

- 1 ^{かんちょう}浣腸は、看護師の判断のみで実施できる。
- 2 ^{かんちょう}浣腸時は、^{そくがい}右側臥位をとらせる。
- 3 ^{かんちょう}浣腸液の温度は、40～41℃とする。
- 4 成人の場合、^{こうもん}肛門へのカテーテルの挿入は、8～9 cmとする。

【問題 58】吸引について、適切でないのはどれか。

- 1 気道吸引を繰り返す際には、深呼吸を促す。
- 2 気道吸引の1回の吸引時間は、10～15秒以内とする。
- 3 ^{きょうくう}胸腔内低圧持続吸引の場合、チューブ挿入部より低い位置に吸引びんを設置する。
- 4 ^{きょうくう}胸腔内低圧持続吸引の場合、吸引びんの交換時は、チューブをコッヘルで1カ所止める。

【問題 59】シーツ交換について、適切でないのはどれか。

- 1 シーツの中央線をマットレスの中央に合わせる。
- 2 ボディメカニクスを活用する。
- 3 シーツ類をマットレスの下に挟み込むときは、^{しゅしょう}手掌を下にして挟み込む。
- 4 取り除いたシーツは床に置く。

【問題 60】輸送車（ストレッチャー）による移送について、適切でないのはどれか。

- 1 使用前に、キャスターの動きやブレーキのかかり具合を確認する。
- 2 平らなところでは、頭側から進行する。
- 3 後ろを押す看護師は、患者の様子を観察しながら進行する。
- 4 柵（サイドレール）をして移送する。

【問題 61】体位変換の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 介助者は少ない力で援助できるように工夫する。
- 2 患者の能力が有効に活用できるように配慮する。
- 3 仰臥位ぎょうがいから側臥位そくがいにするときは、患者の膝ひざは伸ばしたままで行う。
- 4 長座位たんざいから端座位でんぶにするときは、殿部でんぶを支点にして回転させる。

【問題 62】睡眠に関することについて、適切でないのはどれか。

- 1 ノンレム睡眠は、眼球のすばやい動きが特徴である。
- 2 安眠への援助としては、照度を小さくする。
- 3 不眠の原因としては、環境的因子、身体的因子、心理的因子がある。
- 4 睡眠中は、覚醒時かくせいより心拍数が減少する。

【問題 63】看護の倫理として、適切でないのはどれか。

- 1 対象となる人々との間に信頼関係を築く。
- 2 実施した看護について個人として責任を持つ。
- 3 看護の対象は、あらゆる年代の個人・家族・集団・地域社会である。
- 4 インフォームドコンセントは医師のみが行う。

【問題 64】病院食について、適切でないのはどれか。

- 1 常食は、健康時とほぼ同様の食事である。
- 2 軟（菜）食がゆには、五分粥食が含まれる。
- 3 半流動食そしゃくは、咀嚼困難な患者に選択される。
- 4 治療食は、栄養素の制限あるいは強化目的で選択される。

【問題 65】排便について、正しいのはどれか。

- 1 食事摂取から排便までの時間は、12～24 時間である。
- 2 糞便が直腸に移動し、直腸壁に圧がかかると大脳皮質ひしつに刺激が伝達され便意を感じる。
- 3 便の pH は、7.4～7.9 である。
- 4 便失禁しっしんは、随意に便が排泄はいせつされる状態をいう。

【問題 66】全身清拭^{せいしき}について、適切でないのはどれか。

- 1 皮膚の摩擦^{まさつ}により血行が促される。
- 2 室温は、18～21℃に設定する。
- 3 清拭^{せいしき}時は、不必要な露出を避ける。
- 4 拭く^ふ方向は、筋肉の走行に沿って^ふ拭く。

【問題 67】回復期・リハビリテーション期の患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 リハビリテーションの対象は、身体障害のある人に限られる。
- 2 心理的援助として不安や苦痛を表出できる支援が必要である。
- 3 回復期では、慢性期に移行したり悪化する場合がある。
- 4 リハビリテーションは、看護者や理学療法士などの他職種と連携して行う。

【問題 68】継続看護について、適切でないのはどれか。

- 1 国際看護師協会（ICN）で定義されている。
- 2 あらゆる健康レベルに対応する。
- 3 継続するための手段として、看護要約（看護サマリー）を利用する。
- 4 施設間での情報の共有は不可である。

【問題 69】ショックの徴候について、誤っているのはどれか。

- 1 血圧低下
- 2 徐脈
- 3 意識障害
- 4 四肢冷感^{しし}

【問題 70】家族の理解について、適切でないのはどれか。

- 1 家族が病気になっても、家族の機能は不変である。
- 2 家族の背景を理解し、アセスメントすることが必要である。
- 3 家族の入院は、家族自体に心理的影響を与える。
- 4 看護師は、家族との接点を大切にする。

【問題 71】 20 滴で 1 mL の輸液セットを用いて、1 分間に 40 滴で滴下した場合、点滴静脈内注射液 480 mL の投与完了までに要する時間として、正しいのはどれか。

- 1 4 時間
- 2 6 時間
- 3 8 時間
- 4 12 時間

【問題 72】 成人への胸骨圧迫について、適切なのはどれか。

- 1 圧迫は両手で行う。
- 2 背部は柔らかい場所が良い。
- 3 胸部が 3 cm へこむ程度に押す。
- 4 1 分間に 60 回の速さで行う。

【問題 73】 集中治療室（ICU）への入室適応となる患者の病態について、誤っているのはどれか。

- 1 急性呼吸不全
- 2 急性薬物中毒
- 3 終末期
- 4 ショック状態

【問題 74】 放射線療法を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 皮膚は清潔に保つ。
- 2 水分を十分に摂取させる。
- 3 食事は低たんぱく食にする。
- 4 皮膚インクでマークされた照射部位のしるしは、許可があるまで消さないようにする。

【問題 75】 薬物療法について、正しいのはどれか。

- 1 経口薬は必ず食後に服用する。
- 2 薬の作用を増強する食物がある。
- 3 腎機能障害があると、薬の作用が減弱しやすい。
- 4 長期間使用しても薬物の効果は減弱しない。

【問題 76】術前オリエンテーションについて、適切でないのはどれか。

- 1 予定されている手術日時を説明する。
- 2 術後の状態についての説明は避ける。
- 3 当日準備する物品を説明する。
- 4 家族の面会について説明する。

【問題 77】がん患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 がんの治療法について、インフォームド・コンセントが重視される。
- 2 患者の生活の質（QOL：クオリティオブライフ）を考えた看護の実践が必要となる。
- 3 抗がん剤の投与当日は、肺線維症^{せんい}に注意する。
- 4 化学療法による脱毛に対しては、帽子等の着用を考慮する。

【問題 78】年代別主要死因の第 1 位の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 20 歳代 ————— 不慮の事故
- 2 30 歳代 ————— 自殺
- 3 40 歳代 ————— 心疾患^{しっかん}
- 4 50 歳代 ————— 脳血管疾患^{しっかん}

【問題 79】呼吸器疾患^{しっかん}と症状の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 肺線維症^{せんい} ————— 湿性咳嗽^{がいそう}
- 2 気管支拡張症 ————— 喀血^{かっけつ}
- 3 慢性閉塞性肺疾患^{へいそく} ————— 拘束性換気障害
- 4 肺血栓塞栓症^{けっせんそくせん} ————— チェーン・ストークス呼吸

【問題 80】気管支喘息^{ぜんそく}について、正しいのはどれか。

- 1 治療薬としてβブロッカーがある。
- 2 持続性の呼吸困難、喘鳴^{ぜんめい}、咳^{せき}、痰がみられる。
- 3 重症発作時は起座呼吸^{きざ}となる。
- 4 無症状期（非発作時）には、治療や日常生活の管理は必要ない。

【問題 81】^{かけつ} 咯血時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 時間、量、性状、^{ずいはん} 随伴症状を正確に観察する。
- 2 黒色の血液を吐き出すのが特徴である。
- 3 バイタルサインのチェックを行い、血圧低下に注意する。
- 4 ^{ちっそく} 窒息予防のため、^{そくがい} 側臥位にする。

【問題 82】^{しっかん} 胸痛の原因疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 ^{こうそく} 心筋梗塞
- 2 ^{かいり} 大動脈解離（^{かいり} 解離性^{りゅう} 大動脈瘤）
- 3 ^{ちゅうかく} 心室中隔欠損症
- 4 気胸

【問題 83】^{しっかん} 虚血性心疾患の治療について、正しいのはどれか。

- 1 ^{こうきゅうてき} 恒久的（永久）ペースメーカー
- 2 冠状動脈バイパス術
- 3 植え込み型除細動器（ICD）
- 4 カテーテルアブレーション

【問題 84】心不全について、誤っているのはどれか。

- 1 心拍出量が減少するため、静脈圧が低下する。
- 2 左心不全では、肺うっ血がおこる。
- 3 右心不全では、^{かんしゅだい} 肝腫大や^{かし} 下肢の^{ふしゅ} 浮腫がおこる。
- 4 胸部X線検査では、^{しんきょうかくひ} 心胸郭比が増大する。

【問題 85】^{しっかん} 虚血性心疾患患者の発作時の看護について、適切なのはどれか。

- 1 安静を促す。
- 2 迅速にニトログリセリンを内服させる。
- 3 ニトログリセリンの効果が不十分な場合、追加投与は^{きんき} 禁忌である。
- 4 症状が^{かんわ} 緩和しない場合に、12誘導心電図を撮る。

【問題 86】腹痛について、誤っているのはどれか。

- 1 十二指腸潰瘍は、空腹時や夜間に痛むことが多い。
- 2 胆石症は、左上腹部（左季肋部）が痛むことが多い。
- 3 膵炎は、左上腹部、背部が痛むことが多い。
- 4 消化管穿孔は、急激におこる痛みが特徴である。

【問題 87】急性腹膜炎について、誤っているのはどれか。

- 1 必ず外科的治療が必要である。
- 2 汎発性腹膜炎では、発熱を伴うことが多い。
- 3 炎症が進むと筋性防御が見られる。
- 4 ドレナージ（誘導術）が重要である。

【問題 88】急性肝炎患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 急性期では、安静が保たれるようにする。
- 2 全身倦怠感、発熱、食欲不振の症状を観察する。
- 3 精神的に不安定になるため、第一に抗不安薬をすすめる。
- 4 劇症化の徴候の早期発見に努める。

【問題 89】急性白血病について、誤っているのはどれか。

- 1 骨髄検査により診断する。
- 2 未熟な血液細胞である芽球が減少する。
- 3 血小板減少がみとめられる。
- 4 化学療法（抗悪性腫瘍薬投与）が行われる。

【問題 90】播種性血管内凝固症候群（DIC）患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 感染症や悪性腫瘍は、原因とはならない。
- 2 ADL介助や環境上の危険物の除去を行い、転倒予防に努める。
- 3 口腔内出血を予防するため、歯磨きは行わない。
- 4 四肢や関節内の出血では患部を下げる。

【問題 91】化学療法時の看護について、適切なのはどれか。

- 1 白血球が $500/\mu\ell$ になるまで面会制限は必要ない。
- 2 シャワー浴は禁止する。
- 3 食事は、食べやすい刺身やサラダをすすめる。
- 4 嘔気がある際は、適切な制吐剤を使用するよう勧める。

【問題 92】^{ないぶんびつしっかん}内分泌疾患と症状の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 クッシング症候群 _____ 満月様顔貌 (moon face)^{がんぼう}
- 2 PRL 産生性下垂体腺腫 (プロラクチノーマ) _____ 無月経
- 3 パセドウ病 (グレーブス病) _____ 眼球突出
- 4 褐色細胞腫 _____ 低血圧症

【問題 93】糖尿病患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 鶏眼 (うおのめ)^{けいがん}、胼胝 (たこ)^{べんち} ができたら自分で早急に削る。
- 2 低血糖時の対処方法について指導する。
- 3 インスリンは、毎回同じ部位に注射するように指導する。
- 4 運動療法は自己判断ですすめてよいと説明する。

【問題 94】^{しっかん}泌尿器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 膀胱腫瘍は、ほとんどが悪性腫瘍 (がん)^{しゅよう} である。
- 2 尿路結石は、カルシウム含有結石が多い。
- 3 膀胱尿管逆流によって、腎盂腎炎^{じんう}を引き起こすことがある。
- 4 前立腺がんでは、血清の前立腺特異抗原 (PSA) が低値となる。

【問題 95】^{しっかん}皮膚疾患と外用治療薬の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 帯状疱疹^{たいじょうほうしん} _____ ステロイド外用薬 (副腎皮質ホルモン外用薬)^{ひしつ}
- 2 アトピー性皮膚炎 _____ 免疫抑制薬 (免疫調節薬)^{めんえき}
- 3 皮脂欠乏性湿疹 (皮膚炎) _____ 活性型ビタミンD₃外用薬^{めんえき}
- 4 (尋常性) 乾癬^{じんじょうせい} _____ 抗真菌薬^{かんせん}

【問題 96】糸球体腎炎について、正しいのはどれか。

- 1 急性糸球体腎炎の発症に先行して、溶血性レンサ球菌（溶レン菌）の感染がみられることが多い。
- 2 急性糸球体腎炎は、高齢者に多い疾患である。
- 3 急性糸球体腎炎の大多数は、慢性糸球体腎炎に移行する。
- 4 慢性糸球体腎炎の診断として、腎生検は行わない。

【問題 97】急性腎不全患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 安静を保持する。
- 2 水分バランスを把握する。
- 3 悪心、嘔吐の出現に注意する。
- 4 食事は高たんぱく食にする。

【問題 98】意識障害について、誤っているのはどれか。

- 1 せん妄では、精神的興奮状態がみられる。
- 2 痛み刺激にほとんど反応しないのは、昏睡である。
- 3 脳死では、脳波の平坦化がみられる。
- 4 脳神経疾患以外ではおきない。

【問題 99】アルツハイマー病について、正しいのはどれか。

- 1 生まれつき知能が低下している。
- 2 意識障害をともなう。
- 3 進行性である。
- 4 社会行動は保たれる。

【問題 100】神経麻痺とその症状の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 腓骨神経麻痺 ————— わし手
- 2 橈骨神経麻痺 ————— 下垂手
- 3 尺骨神経麻痺 ————— 猿手
- 4 正中神経麻痺 ————— 尖足

【問題 101】^{こうそく}脳梗塞患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 急性期は、意識レベルやバイタルサインを経時的に観察する。
- 2 患者の安全のため、必ず抑制する。
- 3 発症後意識が回復したら、直ちに食事を開始する。
- 4 家族の負担軽減のため、できる限り入院を継続する。

【問題 102】アレルギー性鼻炎の患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 ほこりを吸わないように掃除は控える。
- 2 洗濯物は風通しの良い場所に干す。
- 3 マスクの着用を勧める。
- 4 空気感染予防対策を行う。

【問題 103】アナフィラキシーショックの看護について、適切でないのはどれか。

- 1 前駆症状などの早期発見に努める。
- 2 ^{じゅうとく}重篤な場合は呼吸困難を呈する。
- 3 心停止に至る危険性は極めて低い。
- 4 アレルゲンとなる物質を知らせ、回避できるように指導する。

【問題 104】ワクチンによって予防可能な感染症について、誤っているのはどれか。

- 1 ^{ましん}麻疹
- 2 風疹
- 3 エイズ
- 4 B型肝炎

【問題 105】^{たいせい}メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 感染経路のほとんどは接触感染である。
- 2 MRSAが検出された場合は、必ず個室に収容する。
- 3 MRSA陽性患者は、陰性になるまで退院できない。
- 4 体温計は他の患者と共有して使用できる。

【問題 106】不妊症患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 基礎体温測定の実行性、測定方法を説明する。
- 2 配偶者の受診は必要ないと説明する。
- 3 不妊治療を受ける患者の心理を理解する。
- 4 検査に伴う気分不快や疼痛^{どうつう}について説明する。

【問題 107】運動療法実施時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 介助量は最小限にする。
- 2 動作を繰り返し訓練する。
- 3 自動運動から他動運動へ誘導する。
- 4 一定の期間毎に評価する。

【問題 108】大腿骨頸部骨折術後の患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 術後1週間は絶対安静とする。
- 2 術後疼痛^{どうつう}は我慢するよう説明する。
- 3 股関節^{こかんせつ}を内転位に保持する。
- 4 腓骨神経麻痺^{ひこつ まひ}に注意して観察する。

【問題 109】褥瘡^{じょくそう}のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 最低2時間ごとに体位変換を行う。
- 2 寝具はポリエステルを使用する。
- 3 栄養価の高いものを補給する。
- 4 骨突出部は注意して観察する。

【問題 110】白内障の手術をうける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 眼鏡やコンタクトレンズは、視力が安定してから処方されると説明する。
- 2 点眼は、術後の患者にとって重要な与薬であることに留意し援助する。
- 3 術直後から入浴可能であると説明する。
- 4 日帰り手術の場合も、翌日診察を受けるように説明する。

【問題 111】耳鼻咽喉疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 急性中耳炎患者には、鼻を強くかむように説明する。
- 2 メニエール病患者には、睡眠不足にならないよう説明する。
- 3 慢性副鼻腔炎患者には、口腔内を清潔にするよう指導する。
- 4 声帯ポリープの患者には、アルコールを控えるよう説明する。

【問題 112】慢性歯周炎（歯周病）について、誤っているのはどれか。

- 1 歯肉や歯槽に炎症が及び、歯槽骨が吸収される。
- 2 原因の1つに糖尿病がある。
- 3 治療として歯垢や歯石を取り除く。
- 4 進行しても歯を喪失することは少ない。

【問題 113】後期高齢者の年齢区分について、正しいのはどれか。

- 1 65 歳以上
- 2 75 歳以上
- 3 80 歳以上
- 4 90 歳以上

【問題 114】高齢者の健康問題について、誤っているのはどれか。

- 1 入院受療率は、年齢が高くなるにつれて増加している。
- 2 65 歳以上では、約半数が有訴者である。
- 3 65 歳以上の入院受療率のうち、最も高いのは循環器系である。
- 4 うつに陥ることは少ない。

【問題 115】高齢者の身体的特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 骨にはカルシウムが沈着するので、骨折はまれである。
- 2 水晶体の光透過性の低下により、視力が低下する。
- 3 消化管粘膜が萎縮し、消化機能が低下する。
- 4 大動脈の弾力性が低下するため、収縮期血圧が上昇する。

【問題 116】高齢者の脱水症状について、誤っているのはどれか。

- 1 食欲不振
- 2 徐脈
- 3 意識障害
- 4 眼球陥没

【問題 117】高齢者の嚥下と誤嚥性肺炎について、正しいのはどれか。

- 1 飲食物にトロミをつけると誤嚥しやすい。
- 2 喉頭蓋のはたらきが、気道への誤嚥を防いでいる。
- 3 誤嚥をおこさないように、仰臥位での食事を勧める。
- 4 食前に首の運動をすることは、誤嚥につながる。

【問題 118】廃用症候群による影響について、誤っているのはどれか。

- 1 関節拘縮
- 2 起立性低血圧
- 3 抑うつ状態
- 4 体重増加

【問題 119】認知症について、正しいのはどれか。

- 1 高齢者以外では発症しない。
- 2 血管性認知症（脳血管性認知症）は、レビー小体が出現する。
- 3 記憶障害はまれである。
- 4 見当識障害は、時、場所、人が判断できなくなる。

【問題 120】認知症高齢患者への援助について、適切でないのはどれか。

- 1 食べて危険なものは、手の届かない所や気づかれない所に移しておく。
- 2 物がなくなったと思いついでいるときは、否定せず一緒に探す。
- 3 排泄の援助は、自尊心に配慮しつつ、声かけと確認を行う。
- 4 暴力行為（攻撃的行為）があるときは、直ちに身体拘束を行う。

【問題 121】 老人性難聴のある高齢者とのコミュニケーションについて、適切なのはどれか。

- 1 向かい合って話す。
- 2 高めの声で話す。
- 3 身振りを取り入れて話すことは避ける。
- 4 補聴器の音量を最大限に上げる。

【問題 122】 高齢者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 ベッドの高さは、60 cm くらいにする。
- 2 えんげ 嚥下障害がある場合は、あご 顎を挙上させた姿勢を保つ。
- 3 冷たい水や牛乳を摂取することで自然排便を促す。
- 4 不眠による生活への悪影響を防ぐために、睡眠薬の使用を第一選択とする。

【問題 123】 検査を受ける高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 検査の説明は、パンフレットなどを活用し理解できるよう工夫する。
- 2 検査に支障のない範囲で、枕などを利用して体位を工夫する。
- 3 不安を助長させないように、検査終了後の指示は家族にのみ説明する。
- 4 検査で使用する薬剤の副作用の出現に注意し観察する。

【問題 124】 外来を受診する高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 患者に話しかけるときは、はっきりとした口調でゆっくり話す。
- 2 バイタルサインだけでなく、日常生活の中での変化も確認しておく。
- 3 医学的説明が理解できなかった場合は、医師に再度説明を依頼し、看護師の説明は不要である。
- 4 にんちしょう 認知症がある場合は、家族や介護者に付き添いを依頼する。

【問題 125】 高齢者の訪問看護について、適切でないのはどれか。

- 1 訪問看護には、リハビリテーションも含まれる。
- 2 訪問看護ステーションは、厚生労働省の指定を受けたものである。
- 3 医師の指示で、訪問看護が開始される。
- 4 療養者だけでなく、家族支援も含まれる。

【問題 126】施設で生活する高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 利用者間の人間関係に配慮する。
- 2 利用者個別のアプローチが必要である。
- 3 介護職やほかの専門職と連携・協働する。
- 4 服薬管理（与薬）は、介護職に任せる。

【問題 127】母子保健について、正しいのはどれか。

- 1 母子健康手帳は、医療機関から交付される。
- 2 人工妊娠中絶の適応は、母子保健法に定められている。
- 3 周産期死亡とは、妊娠（満）24 週以降の死産と、早期新生児死亡を合わせたものをいう。
- 4 出生体重が、2,500 g 未満の児を低出生体重児という。

【問題 128】妊娠高血圧症候群の定義・分類について、誤っているのはどれか。

- 1 妊娠 20 週以降で、分娩後^{ぶんべん} 12 週までに高血圧がみられる場合をいう。
- 2 収縮期血圧 160 mmHg 以上は、重症に分類される。
- 3 子癇^{しかん}とは、妊娠 20 週未満に痙攣^{けいれん}発作をおこすものをいう。
- 4 妊娠 32 週未満に発症するものを早発型とする。

【問題 129】妊婦の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 妊娠 36 週以降の妊婦は、2 週間に 1 回の定期健康診査（妊婦健診）が必要である。
- 2 妊娠中の食事は、非妊娠時に比べ、葉酸の摂取量を増やす。
- 3 齲歯^{うし}（う歯）がある場合は、治療を受けるように勧める。
- 4 妊娠中は便秘^{べんぴ}になりやすいため、予防に努める。

【問題 130】分娩監視装置^{ぶんべん}を用いた検査とその所見について、正しいのはどれか。

- 1 ノンストレステスト（NST）は、母体がりラックスした状態で、胎児心拍数と子宮収縮、胎動を連続監視する。
- 2 胎児心拍数基線の正常は、110 bpm 未満である。
- 3 心拍数基線細変動がなくなるのは、正常所見である。
- 4 一過性頻脈を認めるのは異常である。

【問題 131】^{じょくふ}褥婦の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 ^{おろ}悪露は、赤色→褐色→黄色→白色の順に変化する。
- 2 ^{さんじょく}産褥1日の子宮底の位置は、^{ぶんべん}分娩直後と同じ高さである。
- 3 マタニティブルーズは、周囲の協力やサポートなどで回復することが多い。
- 4 ^{さんじょく}産褥体操は、血液循環を良好にし、^{りゅう けっせん}静脈瘤や血栓を予防する効果がある。

【問題 132】新生児の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 体温低下を予防するため、出生直後は^{もくよく}沐浴を行わない施設が増えている。
- 2 新生児の生理的^{おうだん}黄疸は、生後2～3日ごろ出現し、通常2週間以内に消失する。
- 3 アプガースコアは、出生時の新生児の状態を、15点満点で評価する。
- 4 生理的体重減少は、生後3～4日目にピークが見られる。

【問題 133】小児看護の技術について、適切でないのはどれか。

- 1 小児の血圧測定に用いるマンシユットは、上腕の2/3をおおう幅のものを選択する。
- 2 幼児の^{かんちょう}浣腸は、^{こうもん}カテーテルを肛門に10 cm挿入する。
- 3 幼児の腹囲測定は、^{ぎょうがい ひざ}仰臥位で膝をのばして測定する。
- 4 プレパレーションは、子どもの心理的な混乱を最小限にし、乗り越える力を引き出す。

【問題 134】小児への投薬について、適切でないのはどれか。

- 1 幼児に錠剤を投与する場合は、^{えんげ}嚥下できないことがあるので注意が必要である。
- 2 坐薬は、体温で溶けることから素手で扱わないようにする。
- 3 乳児への与薬は、育児用ミルクに混ぜて飲ませると良い。
- 4 筋肉内注射は、^{まひ}神経麻痺をおこす危険性がある。

【問題 135】定期予防接種の対象となる疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 インフルエンザ菌b型 (^ヒ H i ^ブ b)
- 2 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
- 3 ^{せき}百日咳
- 4 ^{ましん}麻疹

【問題 136】先天性心疾患^{しっかん}と特徴的な血液の短絡の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 動脈管開存症 ————— 肺動脈から大動脈
- 2 心房中隔欠損症^{ちゅうかく} ————— 右心房から左心房
- 3 心室中隔欠損症^{ちゅうかく} ————— 右心室から左心室
- 4 ファロー四徴症 ————— 右心室から左心室

【問題 137】川崎病^{ねんまく}（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）患児の看護について、適切なのはどれか。

- 1 接触感染によるため、発疹^{かくり}が出現している間は隔離する。
- 2 口唇^{こうくう}・口腔の症状出現時には絶飲食とする。
- 3 回復期には、指先から膜様落屑^{らくせつ}がみられるが、むしり取らないように注意する。
- 4 脳髄膜炎^{ずいまく}を合併しやすいため、症状の出現に注意して観察する。

【問題 138】小児によくみられる皮膚疾患^{しっかん}について、誤っているのはどれか。

- 1 アトピー性皮膚炎では、家族のなか^{ぜんそく}に喘息、鼻炎などのアレルギー性疾患^{しっかん}をもつ患者が多い。
- 2 乳児の脂漏性湿疹^{しろう}は、四肢伸側^{しし}など皮膚の乾燥しやすい部位に好発する。
- 3 汗疹^{かんしん}は、発汗の多い部位^{すいほう}に小水疱や丘疹が生じ「あせも」ともよばれる。
- 4 伝染性軟属腫（みずいぼ）は、ウイルスによる感染症である。

【問題 139】自我の防衛機制としての「合理化」の説明について、正しいのはどれか。

- 1 不安な感情を意識から排除すること。
- 2 もっともらしい理屈をつけて、自分の失敗や欠点を正当化すること。
- 3 自分の欲求を抑えるために、正反対の態度や行動をとること。
- 4 困難に直面して、より低い発達段階に戻ること。

【問題 140】発達と心の課題に関する組み合わせで、適切でないのはどれか。

- 1 学童期 ————— モラトリアム
- 2 青年期 ————— 摂食障害
- 3 成人期 ————— から空の巣症候群
- 4 老年期 ————— にんちしょう認知症

【問題 141】^{しっかん}疾患と症状の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 うつ病 _____ 自殺企図^{きと}
- 2 統合失調症 _____ 思考（観念）^{ほんいつ} 奔逸
- 3 強迫性障害（強迫神経症） _____ 不潔恐怖
- 4 アルコール離脱症候群 _____ 振戦^{もう}せん妄

【問題 142】次の薬の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 抗精神病薬 _____ リスペリドン
- 2 抗不安薬 _____ ジアゼパム
- 3 抗躁^{そう}薬 _____ 炭酸リチウム
- 4 抗うつ薬 _____ クロルプロマジン

【問題 143】^{しっかん}精神疾患について、正しいのはどれか。

- 1 アスペルガー症候群（アスペルガー障害）では、言語の発達の遅れが著しい。
- 2 躁^{そう}うつ病の躁^{そう}状態では、昏迷^{こんめい}に陥る。
- 3 神経性無食欲症は、若い男性に多発する。
- 4 うつ病の病前性格に、執着性格がある。

【問題 144】精神科外来患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 本人だけでなく、家族からも情報を得る。
- 2 興奮を避けるため機械的・事務的な対応に努める。
- 3 医師や他職種と連携をとりながらケアを行い、患者と医療者との間を調整する。
- 4 患者が待合室にいる間は、トラブルがないように常に状況を把握する。

【問題 145】^{しっかん}薬物療法を受けている入院中の精神疾患患者の対応について、適切でないのはどれか。

- 1 拒薬に対しては、信頼関係をもとに徐々に関係を築きながら働きかけていく。
- 2 長期服用者にも副作用（有害反応）が現れることがあると指導する。
- 3 誤薬がおきやすいので注意する。
- 4 症状が好転していれば、服薬は勧めなくても良い。

【問題 146】精神疾患^{しっかん}で急性期の興奮状態にある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 気分を和らげるために、大部屋を用意する。
- 2 複数の看護師で対応する。
- 3 落ち着いた態度で接する。
- 4 水分の出納チェックを行う。

【問題 147】精神障害者保健福祉手帳に関することについて、正しいのはどれか。

- 1 障害者自立支援法により創設された。
- 2 居住地の市町村長の認定で交付される。
- 3 5年ごとに審査を受けなければならない。
- 4 社会復帰の促進が目的である。

【問題 148】精神保健福祉センターの役割について、誤っているのはどれか。

- 1 精神保健に関する知識の普及や調査研究
- 2 精神科救急医療の提供
- 3 精神保健に関する相談および指導
- 4 精神医療審査会の事務

【問題 149】精神科病院への入院について、誤っているのはどれか。

- 1 任意入院は、本人の同意に基づいて行われる。
- 2 措置入院は、精神保健指定医1名の診察で入院させることができる。
- 3 緊急措置入院は、72時間に限り入院させることができる。
- 4 応急入院は、本人及び保護者の同意がなくても入院させることができる。

【問題 150】統合失調症について、正しいのはどれか。

- 1 特徴的な症状にさせられ体験がある。
- 2 多くは中年期以降に発症する。
- 3 陽性症状として無気力になる。
- 4 幻覚や妄想^{もうそう}はまれである。